

25

自立した大人になることを目標に
子どもに合わせた個別療育を提供



ウェブページ
を見る

株式会社 にじいろくれよん

〒440-0272 榑原市八木町2-7-12 ☎0744-41-6257 <https://nijirocrayon.com>
設立: 2018年 従業員数: 19人



子どもたちのできた！への
階段を一緒につくっていく

発達障害、知的障害、身体障害などのある子どもたちに、一人ひとりに合ったトレーニングプランを立てて個別療育を行う仕事です。発達障害といってもお子さんによって症状はさまざま。専門的な技法や知識を学んだスタッフが、発達を促すことば掛けや工夫をして、自立をサポートしていきます。



どういったところが大切な仕事なの？

子どもたちの発達を促すためには、周りの人が上手にことば掛けをしたり、工夫をしたりすることが大切です。また、毎日の暮らしに取り入れることもポイント。そのため、親御さんにもその方法をしっかりと伝え、学んでもらえるようにします。

暮らしに療育を取り入れるため、お母さん、お父さんにも方法を伝えるんだね。



できなかった子どもたちが“できる”ようになるために、例えば、こんな工夫をします！

靴を履く



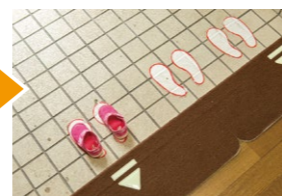
「靴はそろえて脱ぎなさい」と言われても、どうすればいいのか分かりません。



靴をここに揃えて置くということが分かるように、靴置きマークを貼ります。



できないことを叱るより、どうすればできるか工夫しあげることが大切です。

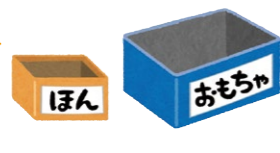


視覚的な情報があれば、混乱することなく、靴を揃えられるようになりました。

上手に収納



「おもちゃを片付けなさい」と言われても、どうすればいいのか分かりません。



どこに片付けるのが分かるように、ラベリングするのも一つの方法です。



何をどこに入れてほしいか分かるように、絵や写真、文字で表示します。



「片付けてね」その一言で、何をどうしたら？がスムーズに実行できます。

どんな仕事があるの？

児童指導員

発達障害を持った就学前のお子さんから18歳までの子どもたちへの療育を行います。児童発達支援事業に配置が義務付けられている職業です。



保育士

児童指導員さんと協力しながら、就学前の乳幼児一人ひとりとじっくり向き合い、成長段階に応じてさまざまな発達支援を行います。



どんな発達支援(トレーニング)をしているの？

スケジュールリング

カードを使って活動の順番をわかりやすくしています。たとえば、その日の活動の流れを「国語」「算数」「作業」「余暇」の4つのカードで示せば、何をどの順番で行うのかがわかり、活動に集中できるようになります。



感覚統合療法

見たり、皮フで感じたりして外部から受け取る情報と体を動かす感覚を運動させるトレーニング。平均台の上を歩いたり、両足でジャンプしたり、身体のいろいろな部位を同時に動かす練習で、体の動きがスムーズになります。



ビジョントレーニング

目を素早く動かしたり、特定のものをしっかり見る練習をすることで、運動能力や集中力を高める手助けをします。こうした力を鍛えることは、勉強やスポーツにも役立ちます。



言語聴覚療法

課題に取り組んだり、遊んだりする中で、言語心理学的技法を用いて、話す力を伸ばします。2語文の子どもたちにはさりげなく3語文での会話を促すなど、個々の言語レベルに合わせることが大切です。



こんな人が働いています

児童指導員・保育士 / 今井美香さん

「できっこない」といった先入観を捨て、あきらめる前にどうすればできるか？を毎日考えています。いろんなチャレンジが私にとっても楽しいです。



欠かせない
ヒミツ道具

運動課題カード

いろんな運動メニューを用意。基礎、応用とクリアしていこう！



この仕事の
魅力

子どもに合わせた個別のトレーニングプランを立てるのはとても難しいことです。発達検査結果や日常生活のエピソードからアプローチ方法を考え、子どもが「今より紙1枚分上」のことができたときは、大きなやりがいを感じる事ができる仕事です。